

カウラ日本庭園 ~オーストラリア~

(COWRA JAPANESE GARDEN)

物件紹介

オーストラリア カウラ市とは (Wikipediaより)

カウラ (Cowra) は、オーストラリアのニューサウスウェールズ州にある街。
カウラ事件が起きたことで知られる。

カウラ日本人墓地 (Cowra Prisoner of War Camp) とカウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden) がある。



カウラ市

シドニーから西へ約250 km
車で4～5時間くらい掛かります。

人口：約5200人（とても小さな町です。）

気候：オーストラリア内陸のため、
乾燥していて、降水量は少ない。

町の周りは、見渡す限りの草原。
牧場が広がっています。
日本の山や森のような風景は
周りにはありません。

カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)

カウラにある日本庭園は「回遊式庭園」と呼ばれるもので、日本を代表する造園家として海外でも広く活躍した中島健（1914年 - 2000年）によって設計された。南半球では最も面積の広い日本庭園である。



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)

受付+カフェ+展示棟の屋根の葺き替え



葺き替え前の屋根の様子。

カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



石州シバオ ウルトラ3S瓦 Zタイプ いぶし色 使用

カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



カウラ日本庭園 (Cowra Japanese Garden)



すべて現地の屋根職人さんが施工されました。

オーストラリアの 日本人向け冊子でも

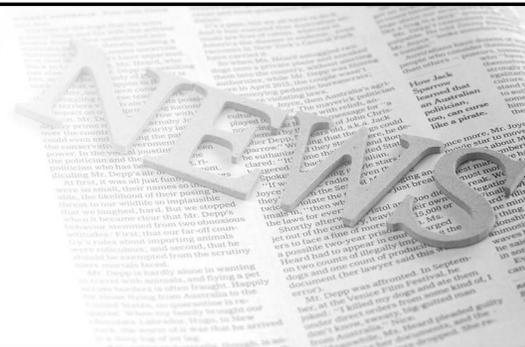
紹介されました！

(日豪プレス)

オーストラリアの日系コミュニティ・ニュースをお届け！

Japanese Community News

オーストラリアにおける日系コミュニティのニュースや最新情報を紹介していくと共に、シドニーを中心に各地で行われるセミナーやイベントの告知、報告などを掲載。



カウラ庭園のセンター再開館 島根産・石州瓦の葺き替え完了で竣工式



石州瓦の葺き替えを完了したカウラ日本庭園の文化センター

NSW州中部カウラ市にあるカウラ日本庭園で1月29日、瓦屋根の葺き替えを終えた文化センターの新しい姿が披露された。広さ100平方メートルの文化センターの屋根には、江戸時代からの伝統を誇る島根県の石州瓦が用いられている。

今回の屋根の葺き替えは、日本の職人が作った瓦を、オーストラリアの職人が施工し完成させた。1月29日に行われた竣工式にはオーストラリア保守連合政権のマイケル・マコーマック副首相やカウラのビル・ウエスト市長、在オーストラリア日本国総領事館の大村周太郎公使も参加し、日豪合作ともいえる同センターの新生を祝った。

同式典では、同庭園のポブ・グリフィス代表が「江戸様式の庭園デザインの統一感を保つためには日本の瓦を使うことが必須だった」と述べた。また、来豪した石州瓦工業組合の木村博紀理事長は「オーストラリアに初めて輸出した私どもの瓦が、日豪友好の地で使われたことは大変光栄です」と話した。

瓦の葺き替え事業には、在オーストラリア日本国大使館、日本貿易振興機構（ジェ



屋根瓦の葺き替え施工はオーストラリアの職人が担当した



竣工式に出席したマイケル・マコーマック副首相と大村周太郎公使

トロ）、在シドニー日本国総領事館が協力をした。カウラ日本庭園は1979年に開園し、今年で40周年を迎える。

令和初の天皇誕生日祝賀レセプション開催



令和初の天皇誕生日が祝われた在シドニー日本国総領事館



グラディス・ベレジリアンNSW州首相（左）と紀谷昌彦・在シドニー日本国総領事



日本らしい饗けりが会場を盛り上げた



日本の国歌を斉唱するシドニー日本人国際学校の児童ら

在シドニー日本国総領事館は2月11日、天皇誕生日（2月23日）祝賀レセプションをシドニー東郊ローズ・ベイにある在シドニー日本国総領事館で開催した。恵まれた天候の下、NSW州政府関係者や日本企業代表者ら、各界から250人以上が参加した。

レセプションの冒頭では、シドニー日本人国際学校の児童らによる日豪両国の国歌斉唱と、オーストラリア国内での森林火災の犠牲者への黙とうが行われた。紀谷昌彦・在シドニー日本国総領事は祝賀あいさつの中で、日本企業や組織などに感謝を述べた上で、令和初の天皇誕生日で60歳を迎える天皇陛下の健康を祈念した。更に、昨年のラグビー・ワールドカップや今年開催される東京五輪・パラリンピックを通じて訪日オーストラリア人の増加や直行便の増加などによる日豪間の交流の深化や、シドニー西部エリアの開発を中心とするNSW州と日本のビジネス関係の強化など、多方面にわたる日豪関係の緊密さについて述べた。また、第2次

るに当たり、オーストラリアが日本に示してきた寛容の精神と今日までに日豪両国間に築かれた信頼関係にも言及した。

同レセプションに出席したグラディス・ベレジリアンNSW州首相は、天皇陛下への祝意を述べ、饗けりの音頭を取った。和太鼓の演奏も披露された会場では、日本産米を使ったすしや飛騨牛、日本酒などが振る舞われ、日本企業の抹茶ドリンクなどの製品やサービス、東京五輪・パラリンピック、NSW州の姉妹都市などを紹介するブースも設けられた。

日本人学校児童、練習の成果を披露

同レセプションで君が代とアドバン・オーストラリア・フェアを斉唱したシドニー日本人国際学校の児童は、日本人学級と国際学級のイヤー6の15人。歌声を披露するにあたって数週間にわたり練習を重ね、当日に臨んだ。同校の日本人学級・音楽担当教員の瀬戸辰徳氏は「音楽の授業でも歌っている日豪両国の国歌を子どもたちが一杯歌いました。貴重な機会を与えていただき、大変光栄に思います」とコ

なぜ、カウラ市に日本庭園!?

カウラには、第二次世界大戦中の捕虜の収容所がありました。

カウラ事件とは・・・

第二次世界大戦時の1944年8月5日に、オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州カウラで起こった日本兵捕虜脱走事件。

捕虜収容所の脱走事件としては、史上最多の人数（日本人収容者数1,104名の内、545名以上）と見られる。死者数235名（オーストラリア人4名、日本人231名）、日本人負傷者数108名

カウラ事件の追悼のために、
日本庭園が造られました。

日本人捕虜が、野球をしている当時の写真

